



障害をもつ人たちが、喜びを感じながら
安心して働ける場を提供したい。
徳山教会 上坂道磨

上坂さんが経営する農水産物の冷凍調理食品製造・販売会社「カン喜」は、社員の約半数がハンディキャップを抱えている。周囲からの批判を浴びながらも、「すべての責任は私が負う」と説き伏せ、障害者雇用に踏み切ったのは、二十四年前のこと。その信念を支えているのは、上坂さんの両親の生き様であり、「困っている人に手を差しのべられる人間になりなさい」という言葉。今もその言葉を胸に、企業経営を通して地道な人づくりに取り組んでいる。

ほんとうの 安心

毎年この時期には、新しい環境や人間関係の中で不安や焦りを感じる人が多くなります。その要因の一つとして考えられるのは、他人との比較です。不安感や焦りを抑える心のあり方は、自分のいのちの尊さ・有り難さに気づくこと、つまり他と比較する必要のない——世間一般のかりそめのものを全部はぎとつてもそこに残るもの——根源の命というものの自覚にたつことが大事です。

どんなときでも自分の都合を忘れて謙虚に、そしてある意味では、開き直って一心に仕事や家事に打ち込むとき、そこにほんとうの安心があるといえるでしょう。

立正佼成会